

栗真小だより



令和4年1月12日発行

明けましておめでとうございます！



新しい年 2022 年が幕を開け、3 学期がスタートしました。

子どもたちは、「おはようございます」の元気なあいさつから、3 学期をスタートさせました。今年はちょっと長いめの冬休み、きっと有意義にすごしてくれたことと思います。

3 学期は、一番短い学期でありながら、一年の締めくくりや来年度に向けての準備と、大切な学期です。

新型コロナウイルス感染症の感染急拡大が懸念されますが、感染予防をしっかりと行いながら、子どもたちや保護者の皆様・地域の皆様に「学校っていいな」と実感していただけるよう、「ていねいな」指導に全職員で努めてまいりたいと思います。

本年も、ご理解・ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

「しあわせ」ということ！

「幸せ」という言葉について調べてみました。

一説によると、「幸せ」という表記になったのは、江戸時代以降で、元々は、「仕合せ」と表記していたそうです。「仕」とは「する」という動詞で何か2つの動作を「合わせる」という意味で、「しあわせ」とは状態ではなく、「一緒に何か行動する」という行動そのものが「しあわせ」だったそうです。

だとすると、人と人がつながり合って一緒に何か行動すると、しあわせになるとも考えられます。言い過ぎかもしれませんが、互いを認め合い支え合いながら、一緒に行動していくことが、しあわせになることだとも言えます。それなら、しあわせは、どんどん増やしていけるものではないでしょうか。

3 学期の始業式で子どもたちに、「友だちや様々な人と一緒にいろいろなことをして、どんどんしあわせを増やしていきましょう！」と話しました。学校ではこれからも、子どもたちが学級の仲間や学年を越えた仲間、学校を越えたつながりや地域の方々など、様々な人と一緒に学ぶ(行動する)機会を大切に活動していきたいと思えます。

ご家庭でも、お子さまと一緒に何か行動する機会を、増やしてみてください。親子で何気ない会話を一緒にするだけで、しあわせな気分になれると思います。



年頭にあたって、大切にしたいこと！

「わたしたちのやくそく」—学校では— もう一度しっかり守って安心生活！

令和3年度 わたしたちのやくそく

栗真小学校

- 学校では
- ・ 正しい言葉づかいで話します。
 - ・ 自分から進んで、あいさつをします。
 - ・ チャイムの合図ですぐに勉強や仕事にかかります。
 - ・ 休み時間は、天気の良い日は外で元気に、雨の日には教室で静かに遊びます。
 - ・ そうじは、みんなで協力して、時間内に終わらせます。
 - ・ 廊下や階段は、走らず右側を歩きます。
 - ・ 自分の物も学校の物も大事に使い、使った物は元の場所に返します。
 - ・ 手洗い場やトイレは、いつもきれいに使います。
 - ・ 必要のない物は、学校に持ってきません。
- 例；キーホルダー、折り畳みの定規など
- ・ 勝手に学校の外へ出ません。
 - ・ 許しを得てから、他の教室に入ります。



「筆箱の中を整理しよう！」 筆箱の乱れは、心の乱れにつながります。

鉛筆をけずり、筆箱の中を整理しよう。

余分なものは、入れないようにしよう。



筆箱の中 (鉛筆HBかB:5・6本、赤鉛筆、名前ペン、よく消える消しゴム、ミニ定規)

—家庭学習の手引き(一身田中学校区学力向上部会)より—

「学校内での感染予防に気をつけよう！」 みんなで一緒に 気をつけよう！

マスクをつけよう！
友だちとは、両手を広げて 離れよう！
頭と頭 肩と肩を近づけないで！
大声を出さないで！
こまめな手洗い・換気に気をつけよう！

